



こんにちは

村田けい子

です

2016.7.8

No.58

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868



野党党首と市民運動のみなさん、

一票を争う激しい選挙戦になっています。大激戦・大接戦です。与党勢力も必死ですが、その必死さを上回る必死の努力で勝利しましょう！！

選挙区は「杉尾ひでやさん」
比例は「日本共産党」と
拡げてください。

【ポスターを汚した犯人捕まる！】

先週号でお知らせしたポスターの破損事件、赤や黒のスプレーで選挙ポスターや政治ポスターを汚されました。「選挙活動の自由妨害」で被害届を出した7月1日の夜、張り込んでいた佐久警察が現行犯で犯人を逮捕しました。

なんと高崎市の住民でした。なんだって立科町までやってきてこんなひどいことをしたのでしょうか。

「権現の湯」の前、蓼科ケーブルビジョンの北側に設置したポスターは、合わせて4回、茂田井に設置したポスターは1回3枚、合計で20枚近くがスプレーで汚され、そのたびに張り替えましたが、時間と手間とで大変な被害です。

1分を争って支持のお願いをしなければいけないときに、大変な選挙妨害で、厳しく取り調べていただきたいと思えます。

選挙は堂々、政策論争で！



野党共同の力で 政治を変えよう！

— 「戦争しない国」をいつまでも —

野党と市民の共闘が政治を動かす！6日午後におこなわれた3野党・市民の共同街宣は、長野駅前を埋める2000人超の参加で熱気あふれる大演説会になりました。市民団体から茅野實さん、シールズの諏訪原さんが挨拶、岡田・民進党代表、志位・共産党委員長、又市・社民党幹事長が杉尾ひでや候補の勝利を訴え、杉尾ひでや野党統一候補が民主主義をとりもどし、新しい政治を切り拓く決意を力強く訴えました。（日本共産党長野県委員会のホームページより 2016年07月06日）

7月3日（日）も望月の駒の里ふれあいセンターで杉尾秀哉候補の個人演説会が行われ、立科からも「一度は杉尾さんのお話を聞いてみたい」と多くの町民が駆けつけました。

会場には米村町長も参加。同じ関西出身とのことで「期待しています」と激励のご挨拶。社民党の柳沢元県議や現職県議も来賓としてご挨拶。出席した市町会議員が紹介されしょうか、土屋春江議長をはじめ、滝沢議員・両角議員・村田も「ご一緒に頑張りましょう」とご挨拶。



オニヤンマ
すでに100匹超え



今週の
パチリ

西塩沢の宮の森公園で今年もオニヤンマの羽化が始まっています。6月中旬から羽化が始まり既に100を超えたそうです。でも今年は異変が！まずヤゴから羽化できずに途中で力尽きたのか死んでしまうもの、ようやく羽化したのに、羽を乾かしている間に死んでしまうもの、羽化しても地上に落ちて、そのまま死んでしまうもの等、その数がいつもよりもとびぬけて多いといえます。どうしたことでしょうか。

わずか22mの、水路に土がたまり、黄色あやめなどが自生している場所での発生です。木があることが、トンボの生息の条件だそうです。

今度集落営農について、総務経済常任委員会が視察するにあたり、まずは町内の実態を知ろうということで、西塩沢機械利用組合（前号で報告）、その後細谷ソバの会の活動について、研修を行いました。

細谷公民館で資料を基に、会長さんら3名から説明を受けました。

高齢化に伴って遊休荒廃地が増え続け、「これを何とかしなくては」と地元有志を中心に平成21年4月に「農地再生プロジェクト:細谷ソバの会」が発足。長野県特産の「信州ヒスイそば」を栽培し、立科の名産にしようと頑張っているとのことでした。

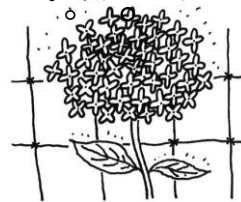
農地再生面積の維持は平成21年度：20a、平成27年度は400a、そして28年度目標は500a ということでした。

昨年度は立科町とJA作浅間の連携により、ソバ乾燥・調整施設を整備し、「信州ヒスイそばプロジェクト」を細谷地区だけでなく全町にも広げ、「立科ソバ」のブランドを確立したいと、夢にあふれたプロジェクトでした。

遊休荒廃地を整備することで、獣害被害が減少し、景観が保たれ、農地の復元が進み、地域農業の活性化につながっているとのこと。

年3回のそば祭りを開催して、地域のコミュニティづくりに貢献している様子。大変素晴らしい取り組みです。

暑中お見舞い
申し上げます
熱中症にお気をつけください



「なぜそばを選んだのか」比較的栽培が容易であること。やせた土地でもよく実るから ということです。

* 今後の抱負としては

会を法人化し、会として農地の借り受けや取得、ソバの製品化などで事業を拡大し、さらに積極的に未利用地の活用を図っていきたいとのことでした。

細谷のほとんどの農家を対象にした取り組みは、西塩沢の機械利用組合と共通。又、農地の耕起、播種などの作業の受諾は、他の地域にも応援に行くとのことでした。

遊休荒廃地を再び再生するのは並大抵ではないと思います。課題として、ソバの実を实らせるための自家受粉の効率を上げることと、雑草退治を挙げてられました。

自分の仕事をしながら、地域のために頑張っていられる皆さん、本当に頭が下がります。楽しみながらやっている姿が輝いています。

会員70軒

会費 3,000円/人

収益はみんなで分けあうこと。

畑は無償で借り受け、ソバを作って、年3回のそば祭りは食べ放題。

* 長野県議会議員の選挙区の区割りについて

7月5日 全員協議会が開かれ県議会議員選挙の区割りについて、軽井沢町議会より「見直しの陳情を県議会に上げたいので立科町議会もいっしょにどうか」とのお誘いがあったとのこと、議員に見解を求められました。

【現在】 佐久市+北佐久郡区（立科・御代田・軽井沢）で定数は4ですが

①定数1を無くしたい ②飛び地を無くしたい

というのが変更したい理由だそうです。

この会議には、宮下元議長と今井県議も参加して、この議論の経緯と県議会での議論とを報告していただきました。

長野県下全域の区割りを見せてもらいましたが、飛び地はいたるところにあり、定数1も11もあります。抜本的な議論が必要です。各自自治体の人口なども示され検討しましたが、現在の形が一番、住民の声を反映しやすい形ではないかという議論になり、今のところ、「区割り変更の陳情には町議会として加わらないこと」が議員の総意として決まりました。

野党共闘の統一候補・
日本共産党への一票は
憲法を守る一票、
9条を守る力です。
拡げてください！